

令和7年度 市町等職員採用試験合同実施要綱

安房郡市広域市町村圏事務組合

1 目 的

この採用試験は、市町及び一部事務組合が行う職員採用試験について、できるだけその条件を統一し同時一斉に実施することにより事務の合理化に資することを目的とする。

2 参加団体

次に掲げる団体が参加できる。

ア 圏域内市町

イ 圏域内市町が加入する一部事務組合

3 試験区分

ア 上級試験（職種：一般行政・土木・建築・電気・機械・化学）

イ 初級試験（職種：一般行政・消防・土木・建築・電気）

ウ 資格免許職試験（職種：保育士・幼稚園教諭・保育教諭・社会福祉士・保健師・栄養士）

エ その他（あらかじめ個別に協議）

4 試験日程

ア 試験日 第1回 令和7年7月13日（日）

第2回 令和7年9月21日（日）

イ 受付期間 第1回 令和7年5月19日（月）から6月11日（水）まで

第2回 令和7年8月1日（金）から8月19日（火）まで

5 試験会場

各参加団体と協議の上、決定する。

6 受験資格

参加団体において定める。

7 試験問題

ア 試験科目、出題数及び所要時間等は別表第1のとおりとし、全参加団体共通とする。

イ 出題分野は別表第2のとおりとする。

ウ 試験問題は参加団体を通じて同一のものとする。

エ 試験問題は択一式とする。

オ 試験問題集（活字印刷）の提供は原則として、日本人事試験研究センターと安房郡市広域市町村圏事務組合（以下「組合」という。）間で直接郵送する方法とする。

カ 第二次試験等として参加団体が独自に行う試験（例えば面接等）及びアに定める科目以外に付加して行うものについての試験問題集（活字印刷）の提供は行わないものとする。

8 応募の受付等

ア 応募の受付は応募者が希望する参加団体において行う。ただし、消防職については安房郡市消防本部総務課で行う。

イ 各参加団体は応募者名簿を組合に提出するものとする。

9 採点

ア 教養科目、専門科目及び職務基礎力試験の採点は日本人事試験研究センターで行い、組合は、採点結果の通知を受けた後、速やかに各参加団体にそれを通知する。

イ 作文及び小論文の採点は組合で行い、採点終了後、速やかに各参加団体に採点結果を通知する。作文及び小論文の採点実施要領は、組合と参加団体が協議して定める。

10 合否（採用）の決定

ア 合否（採用）の決定は、各参加団体において行い、その結果を組合に報告するものとする。

イ 合否（採用）の決定は、前記9の採点結果及び第2次試験等の結果に基づき行うものとする。

11 試験広告等

ア 試験広告は原則として各参加団体が行うものとする。

イ 圏域内の高校、大学、ハローワークの試験広告については組合において行うものとする。ただし、圏域外で行う試験広告については当該参加団体において行うものとする。

12 経費

試験の実施に要する経費は、原則として組合において負担する。

13 その他

以上のほか必要事項については、参加団体の協議により定める。

別表第1（詳細は、（公財）日本人事試験研究センター「2025 年度試験問題ご利用案内」を参照。）

科目名			利用の目安	出題数	解答時間
教養 （択一式）	Standard- I		大学卒業	40 題	2 時間
	Logical- I		程度以上	40 題	2 時間
	Standard- II		高校卒業	40 題	2 時間
	Logical- II		程度以上	40 題	2 時間
専門 （択一式）	行 政	6 分野(30 題)選択解答制	大学卒	50 題	1 時間 30 分
		8 分野(40 題)選択解答制		50 題	2 時間
		40 題必須解答制		40 題	2 時間
	土 木 建 築 電 気 機 械 化 学		大学卒 ・ 高専卒	30 題	2 時間
				30 題	2 時間
				30 題	2 時間
				30 題	2 時間
				30 題	2 時間
	社 会 福 祉 *1 心 理 *1 保 育 士 *3 幼稚園教諭 *2, *3 保 育 教 諭 *3 保 健 師 栄 養 士 *1		資格免許職	30 題	1 時間 30 分
				30 題	1 時間 30 分
				30 題	1 時間 30 分
				30 題	1 時間 30 分
				30 題	1 時間 30 分
30 題				1 時間 30 分	
30 題				1 時間 30 分	
土 木 建 築 電 気		高校卒	30 題	1 時間 30 分	
			30 題	1 時間 30 分	
			30 題	1 時間 30 分	
職務基礎力 試 験 （BEST）	職 務 能 力 試 験 職 務 適 応 性 検 査		全ての方	60 題 150 項目	1 時間 20 分
事務能力基礎試験（Basic）			非常勤職員など	30 題	50 分
作文			全ての方	1 題	1 時間
個別に協議					

*1 第2回採用試験において提供可能な科目

*2 第1回及び第2回採用試験において提供可能な科目

*3 同日に同一の受験者に対して「保育士」と「幼稚園教諭」の2科目、「保育士」と「保育教諭」の2科目または「幼稚園教諭」と「保育教諭」の2科目を実施することはできない。

別表第2

試験問題の出題分野（詳細は、（公財）日本人事試験研究センター「2025 年度試験問題ご利用案内」を参照。）

教 養	大学卒業 程度以上	Standard- I	時事、社会・人文、自然に関する一般知識 文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力
		Logical- I	時事、社会・人文に関する一般知識（「自然に関する一般知識」の出題はない。） 文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力
	高校卒業 程度以上	Standard- II	時事、社会・人文、自然に関する一般知識 文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力
		Logical- II	時事、社会・人文に関する一般知識（「自然に関する一般知識」の出題はない。） 文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力
専 門	大学卒	行政(選択解答制)	憲法、行政法、民法、経済理論、経済政策・経済事情、財政学・金融論、社会政策（社会福祉や社会保険などの社会保障と雇用）、政治学・行政学、国際関係、社会学・教育学
		行政(必須解答制)	憲法、行政法、民法、経済学、財政学、社会政策、政治学、行政学、国際関係
	大学卒 ・高専卒	土 木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画（都市計画を含む。）、材料・施工
		建 築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画（都市計画、建築法規を含む。）、建築設備、建築施工
		電 気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		機 械	数学・物理・情報、材料力学、流体力学、熱工学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
		化 学	数学・物理・情報、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	資格免許職	保 育 士	社会福祉、子ども家庭福祉（社会的養護を含む。）、保育の心理学、保育原理・保育内容、子どもの保健 ※障害児保育については、上記のいずれかの分野で出題することがある。
		保 育 教 諭	社会福祉・子ども家庭福祉（社会的養護を含む。）、保育の心理学、教育学・教育法規、保育原理・保育内容、子どもの保健 ※障害児保育については、上記のいずれかの分野で出題することがある。
		社会福祉士	社会福祉概論（社会保障を含む。）、社会学概論、心理学概論
		心 理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学、産業心理学、臨床心理学）、調査・研究法、統計学
		幼稚園教諭	発達心理、教育学、保育原理、保育内容、法規
		保 健 師	公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論
		栄 養 士	社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、栄養の指導、給食の運営

高校卒	土 木	数学・物理・情報、土木構造設計（構造力学、構造設計）、土木基盤力学（水理学、土質力学）、測量、社会基盤工学、土木施工
	建 築	数学・物理・情報、建築構造設計、建築構造、建築計画、建築法規、建築施工
	電 気	数学・物理、電気回路、電気機器・電力技術・電子計測制御、電子技術・電子回路・通信技術・情報
職務 基 礎 力 試 験	職務能力試験 （BEST－A）	・ 地方行政への関心と理解 ・ 文章を正確に理解し、事務を円滑に遂行する能力 ・ 論理的に思考し、判断する能力 ・ 現状や統計等の資料を分析し、課題を発見する能力 ・ 国内外の社会情勢への理解と新たな課題（地球環境、ICT 化等）に対応するための基礎知識
	職務適応性検査 （BEST－P）	公的部門の職員としての職務への適応性を、ポイントを絞って性格傾向の面からみる
事務能力基礎試験 （Basic）		国語（日本語）能力、数的処理能力
作文		題目による